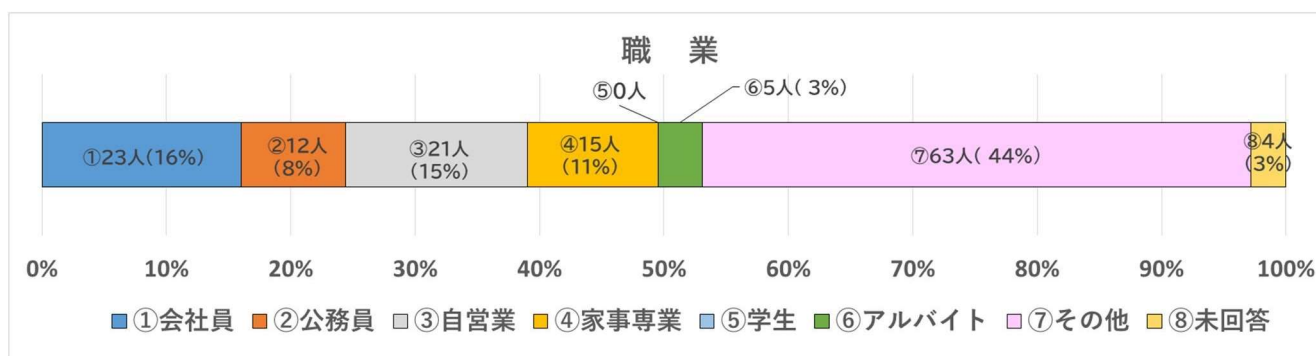
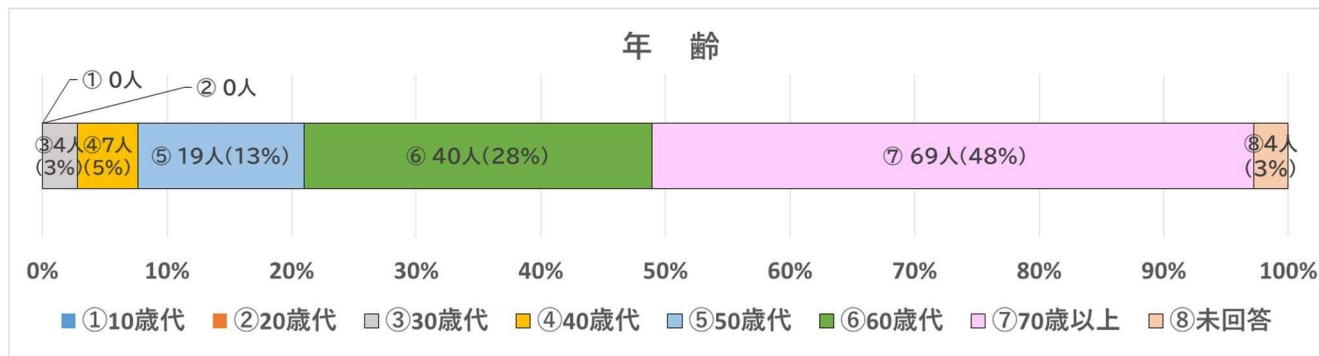


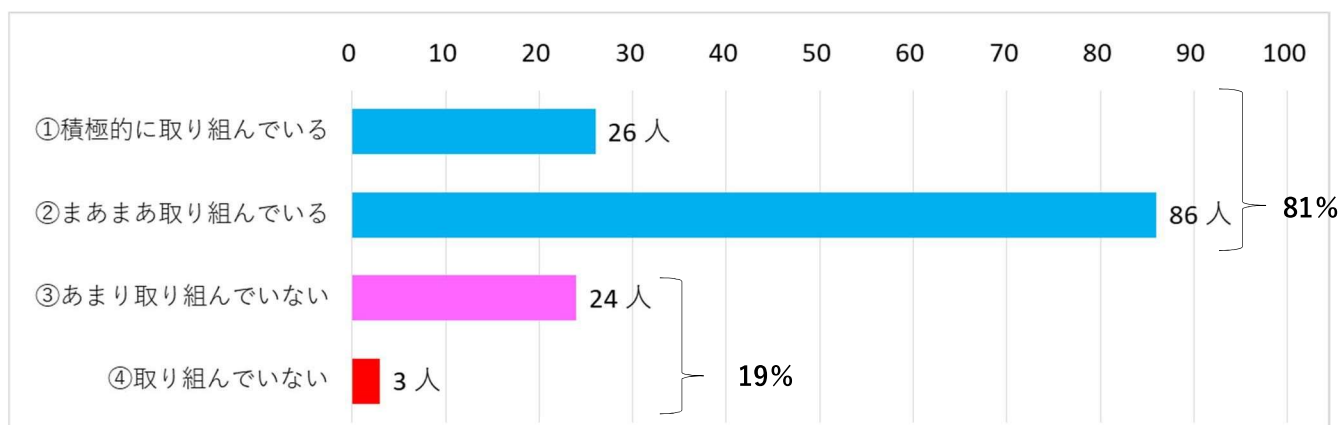
## 「家庭ごみの減量に関するアンケート調査」の結果

意見交換会の参加者を対象に、「家庭ごみの減量に関するアンケート」を実施しました。

### 【回答者(143名)の属性】



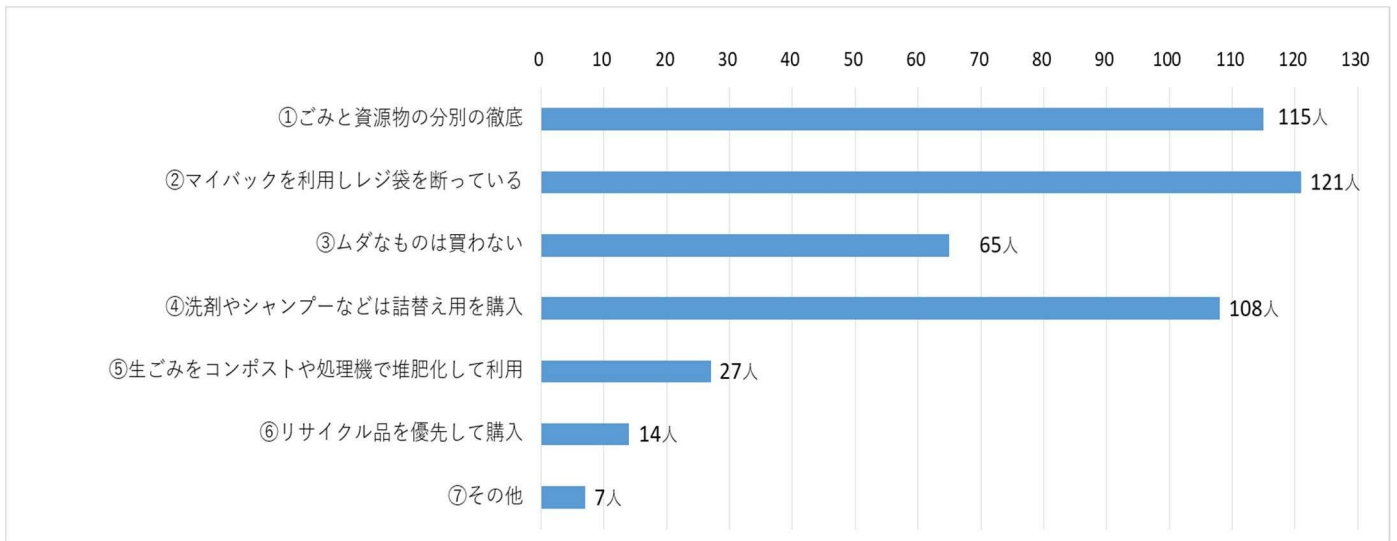
### 【質問1】 現在、あなたはごみの減量に取り組んでいますか？



家庭ごみ減量の取り組みでは、「①積極的に取り組んでいる、②まあまあ取り組んでいる」と回答した人が112人(81%)、「③あまり取り組んでいない、④取り組んでいない」と回答した人は27人(19%)でした。

【質問2】 問1で①から③とお答えいただいた方にお聞きします。

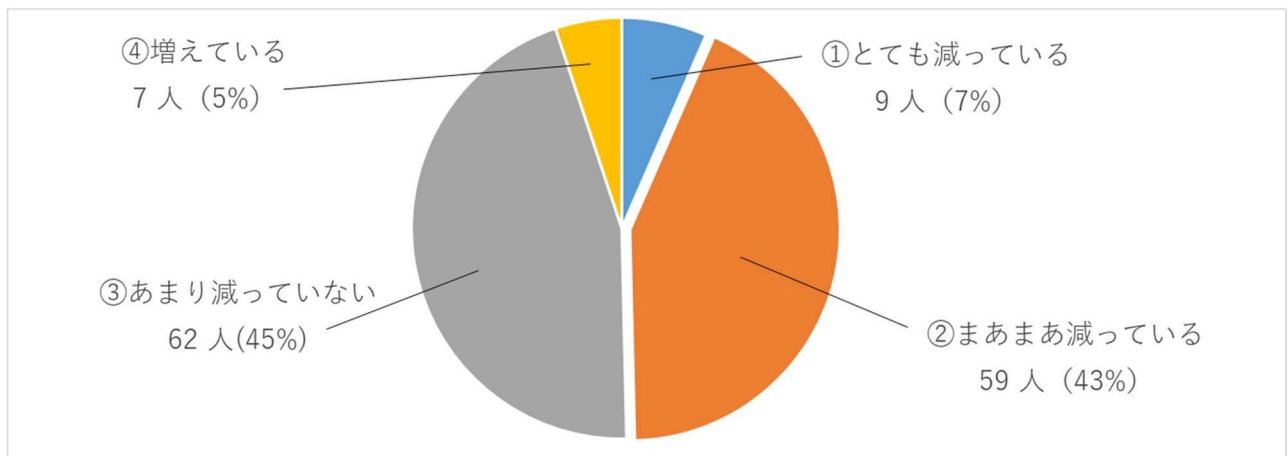
どのような減量施策に取り組んでおられますか？あてはまるもの全て○で囲んでください。



「⑦その他」のご意見

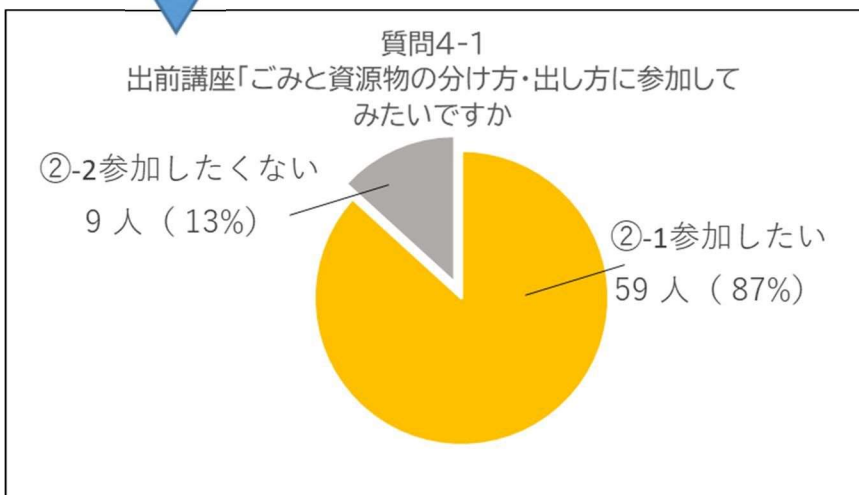
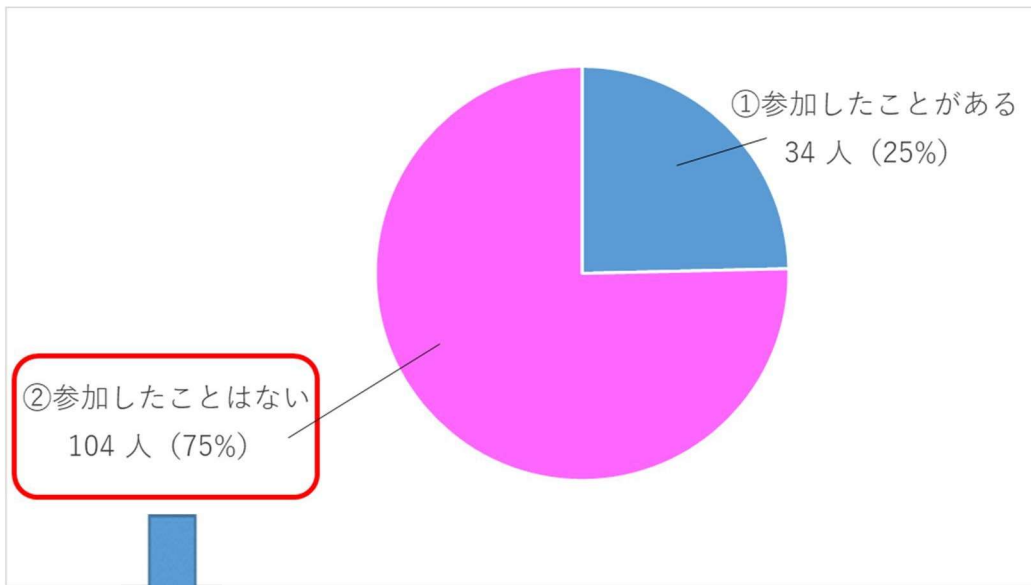
- ・ティッシュを使わない、ペットボトル飲料を買わない
- ・食べ残しを極力なくす
- ・冷蔵庫の中にある材料で料理を作る

【質問3】 ここ数年、あなたの家のごみの量は減っていると思いますか？

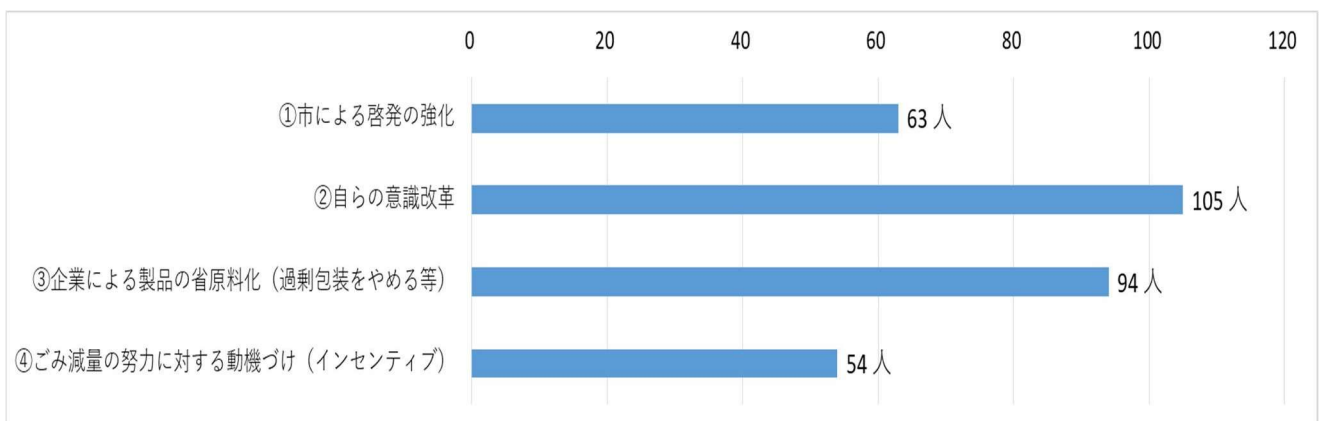


家庭ごみの量では、「①とても減っている、②まあまあ減っている」と回答した人が68人(50%)で、「③あまり減っていない、④増えている」と回答している人の69人(50%)とほぼ同数でした。

【質問4】環境センターの出前講座「ごみの分け方・出し方」に参加されたことはありますか？

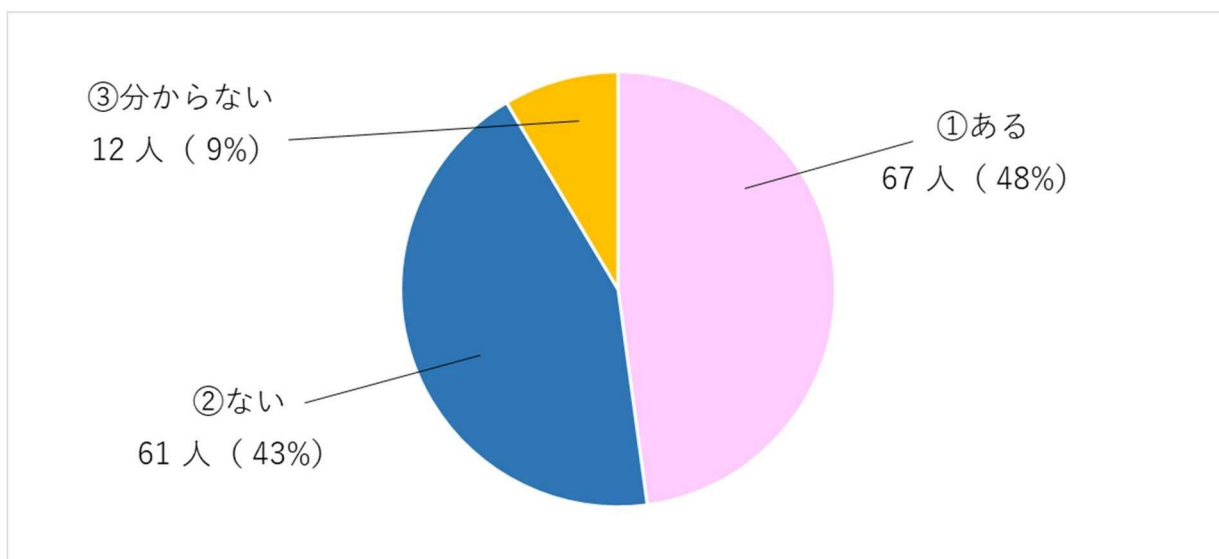


【質問5】家庭のごみを減らすためには何が重要だと思いますか？3つまでお選びください。

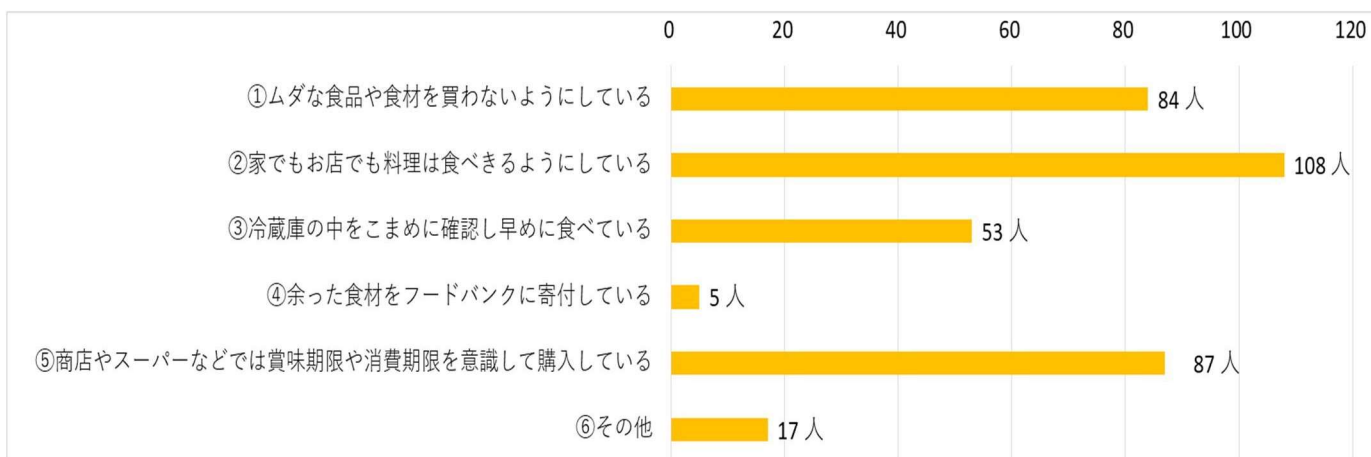


【質問6】 食品ロスの削減についてお聞きします。

【質問6-1】 まだ食べられるのに食品や食材を捨ててしまったことがある。



【質問6-2】 食品ロスの削減に向けて取り組まれていることについて全て○で囲んでください。



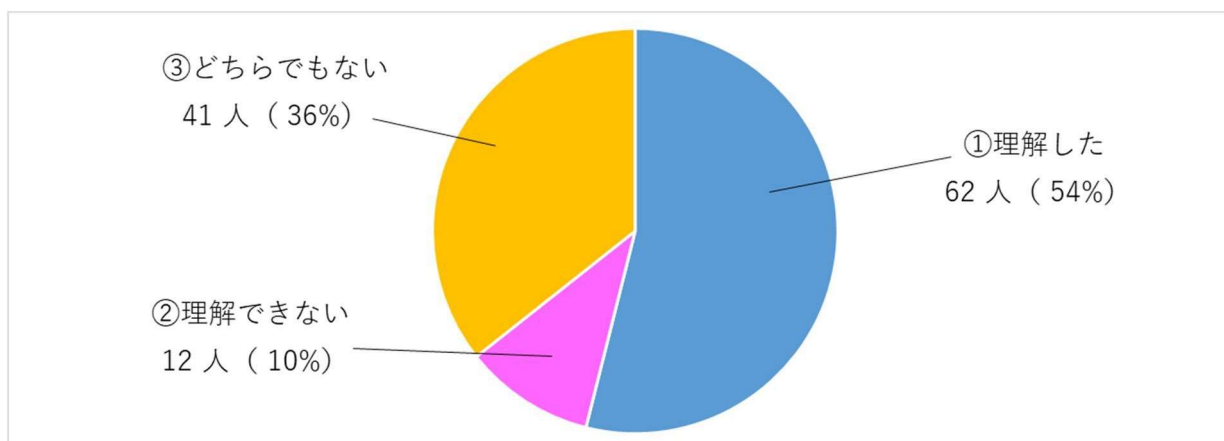
「食品ロスの削減」の取組内容（複数回答）では、「家でもお店でも料理は食べきるようにしている」と回答した人が最も多く108人でした。

「⑥その他」のご意見（工夫されていること）

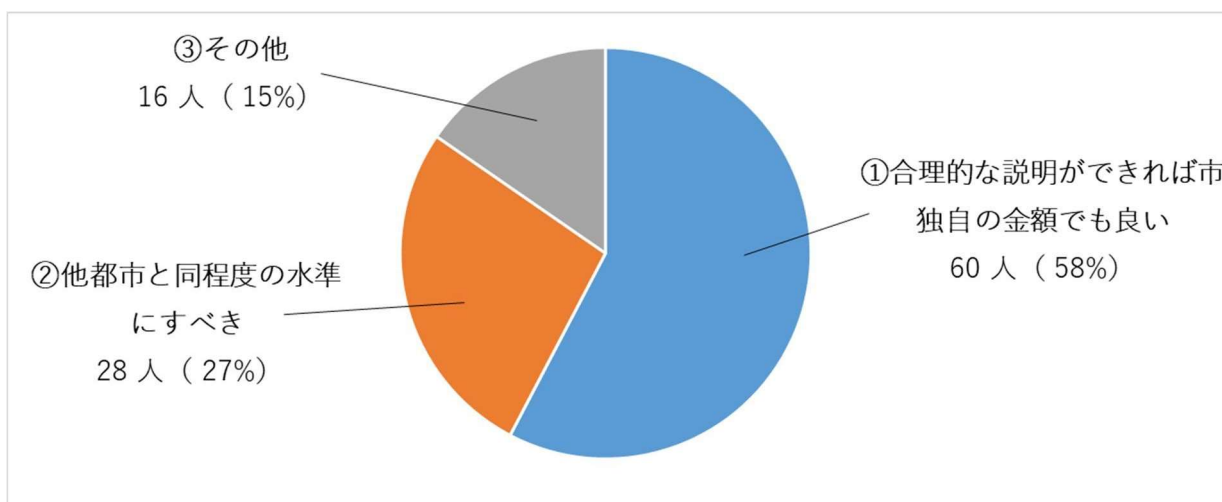
- ・1回（1日）で食べきれ的分だけ作る
- ・食べ残した食品は冷凍保存している
- ・賞味期限の短いものから先に食べている
- ・1週間に1度冷蔵庫を空にしている
- ・冷蔵庫の食材が残らないように献立を工夫している
- ・生ごみを堆肥化して、畑で利用している
- ・生ごみの水きりを行っている（水分除去）
- ・なるべく冷蔵庫にある材料で料理する
- ・外食の際に、少なめの量で注文をする

【質問7】 家庭ごみ有料化制度導入の検討について、お考えをお聞きします。

【質問7-1】 今回の説明で家庭ごみ有料化の「目的」についてご理解いただけましたか？



【質問7-2】 手数料の単価についてはどうお考えですか？

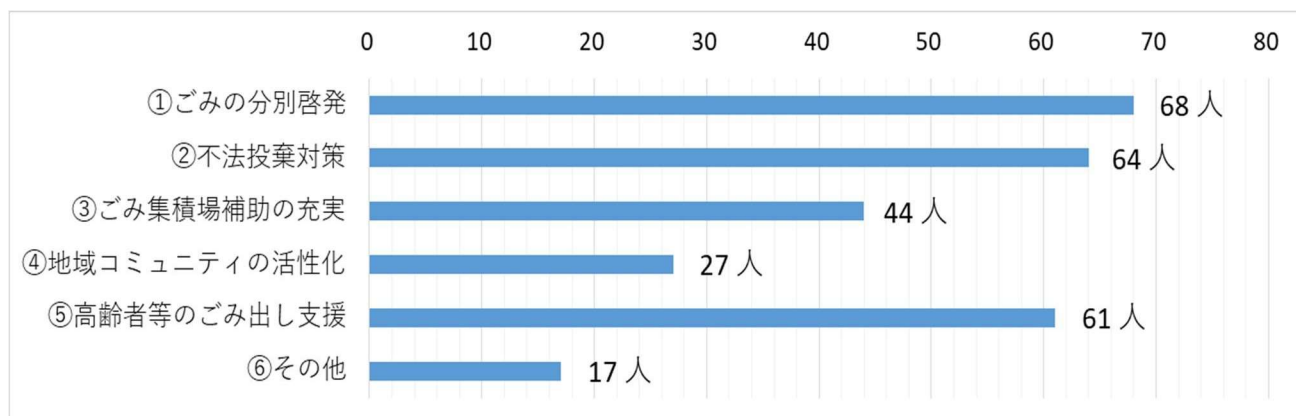


家庭ごみ有料化の導入については、導入の目的について「①理解した」と回答した人が62人（54%）、「③どちらでもない」と回答した人は41人（36%）でした。

「③その他」のご意見

- ・有料化のほかに、富山市独自のアイデアはないのか
- ・有料化の導入によって、一世帯あたりでどの程度負担が増えるのか不明
- ・有料化を導入する場合は、市民が理解できる手数料水準にすべき
- ・有料化を導入をせずに今のままでよい
- ・これ以上生活の負担が大きくならないよう、手数料はできるだけ低く抑えてほしい
- ・有料化は理解したが、手数料は低ければ低い方がよい
- ・排出量が一定量を超えると、その量に応じて手数料を負担する「一定量無料型」がよい
- ・富山市独自の単価設定を検討してほしい
- ・無理に他の自治体と単価を合わせる必要はない
- ・住民一人ひとりにお知らせ等が届くよう、啓発方法や周知期間を考えてほしい

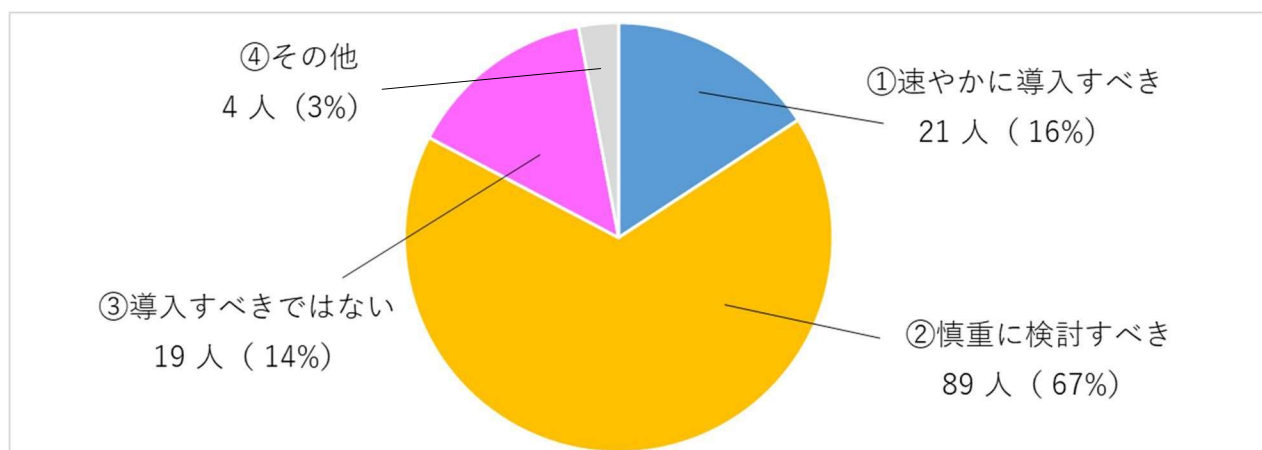
【質問 7-3】有料化による手数料を財源に、何に重点を置いて取り組むべきとお考えですか？  
3つまでお選びいただき○で囲んでください。



「⑥その他」のご意見

- ・田畑、ごみ集積場に不法投棄されるごみは誰が処理するのか
- ・手数料はごみ処理費用に限定するべき
- ・生ごみを堆肥化し、農家の方へ無償で配布するなどの循環型システムの構築
- ・そもそも市の財源確保のための有料化なのか
- ・リサイクル事業の推進
- ・外国人への分別排出の徹底指導
- ・防犯カメラの設置と不法投棄者に対する厳罰
- ・生ごみ処理機、コンポスト等への購入補助
- ・戸別収集の実施
- ・ごみの減量化に繋がる製品の開発・製造に関わる事業者への提案

【質問 7-4】 家庭ごみ有料化の導入についてどうお考えですか？



家庭ごみ有料化の導入については、「②慎重に検討すべき」と回答した人が 89 人 (67%) と最も多く、次いで、「①速やかに導入すべき」と回答した人が 21 人 (16%)、「③導入すべきではない」と回答した人が 19 人 (14%) でした。

－ お選びになった理由 －

「①速やかに導入すべき」を選ばれた方

- ・問題点を洗い出しのうえで、導入すべきと考える
- ・ごみ減量化に向けて周知啓発を徹底してほしい
- ・ごみ減量に対する意識高揚のために有効な取り組みである
- ・ごみ減量化目標の達成には早く導入した方がよい
- ・速やかに導入すべきと思うが、説明はしっかりするべきである
- ・個人に対してごみ減量の啓発を呼びかけることには限界があるため、有料化は導入するべきである

「②慎重に検討すべき」を選ばれた方

- ・市民の負担軽減策を十分に考えてほしい
- ・市民への十分な説明が必要である
- ・生活コストが軒並み上昇している中で、ごみの有料化は厳しい
- ・高齢化が進む中、分別認識できない人が増えてきている
- ・生活スタイルの見直しに向けた啓発をまずは優先すべきで、有料化は最後ではないか
- ・ごみの不法投棄や自家焼却が増えるのではないか
- ・ごみ集積場は町内会単位で管理しており、有料化の導入により不適正排出が心配である
- ・無料というのは将来に費用を持ち越すイメージがある
- ・自分たちが出したごみ処理については、自分たちで責任を持つべきである
- ・有料化の時期を明示することで、今のうちからごみを減らそうという機運になる
- ・今までごみを当たり前のように出していたので、まずは意識改革が必要である
- ・有料化が導入されれば各家庭で減量化に対する意識が高くなる
- ・一人親世帯や一人暮らしの高齢者など経済的弱者への対策をするべきである
- ・もっと積極的に市民にごみ減量の大切さを知らせるべきである
- ・手数料の料金体系や導入の時期などの具体案までを今回の意見交換会で示してもらう必要がある

「③導入すべきではない」を選ばれた方

- ・ごみの不法投棄が増えるだけである
- ・本日の説明では有料化の必要性が伝わらない
- ・有料化の前に、まずはさらなる減量化施策に取り組むべきである
- ・有料化ありきの説明会ではないか
- ・広域圏構成市町村で一斉に有料化を導入するべきである
- ・さらに徹底したごみの分別だけでも十分なごみ減量効果が出るはずである
- ・有料化を導入してもはごみの削減に対する寄与は少ないと考える
- ・物価上昇が著しいこの時期に有料化を導入するべきではない

「④その他（自由記載）」のご意見

- ・手数料はごみ処理費用に充てることで、市の経営の安定にしてほしい
- ・有料化の導入には、市民へのきめ細かい説明が必要

**【質問 8】 今後、富山市が取り組むべき家庭ごみの減量化施策についてお聞きします。**

- ・ 市民の意識を高揚させる施策を推進していくべきである
- ・ 意見交換会参加者が少なすぎる、周知案内が足りない
- ・ もっと時間をかけて住民の意見をいろいろ聞き、具体的な情報を提供していくべきである
- ・ リサイクル方法の簡素化や分かりやすい普及啓発資料の作成など、簡単で分かりやすければ生活により浸透していくと思う
- ・ SDGsの観点からも、生ごみリサイクルを全国にさきがけて富山市がモデルになるような施策を推進してほしい
- ・ ごみの減量にはまずは1人1人の意識が大切であり、今回のような意見交換会はとても重要だ
- ・ 現在、プラスチックから紙に変わりつつある中で、まだまだプラスチック製品も多く使用されているごみを分別しながらも、プラスチック製品を作らなくなれば良いと思う
- ・ 可燃物の収集は週2回は必要なのか、1回で十分ではないか。収集が多くなれば、捨てる方も増えるのではないか
- ・ 国内だけでなく、海外の事例も調査してほしい
- ・ 事業者にもごみにならない売り方を考えてもらいたい
- ・ もっと細かな分別を実施してリサイクルを推進するべきである
- ・ 本日の意見交換会は大変良い機会だった
- ・ 広報だけではPR不足
- ・ ごみ集積場の整備をもっと進めるべきである
- ・ ごみ処理の現状についてもっと市民に知ってもらう機会を増やしていくべきである
- ・ 地域の高齢化が進んでいることから、各町内のごみ集積場の数を増やしてほしい
- ・ リサイクルの効果やリサイクル製品の用途を市民にもっと分かりやすく周知すれば分別意識が高まると思う
- ・ 事業者に向けた減量化策も進めていくべきである
- ・ 市職員はペットボトルではなく、自らマイボトルを使用していくべきである
- ・ 学生が多い地域には、市からアパートの管理会社に対して分別排出の徹底を指導してほしい
- ・ 有料化の目的がごみの減量化なのか、もっとアイデアを出して考えてください
- ・ 細かい分別は必要だと思うが、高齢者にはとても難しい
- ・ ボランティアに頼らずに、市が率先してフードドライブを実施してほしい